

# 中江候補の勝利におけるがんばる

思想文  
千葉転部S

日刊  
**動労千葉**

83, 4, 8

No. 1310

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二七〇七

投票日まであと十六日。

中江＝北原選挙闘争は、いよいよラストスパートに入りました。動労千葉は中江＝北原の勝利にむけ、連日連夜にわたり組織をあげた行動を展開しています。

本号では、選挙闘争をがんばりぬいている組合員から寄せられた思想文を紹介します。

中江候補をこそ熱望する船橋市民

中江選挙闘争の動員に参加して感じたことをのべてみたいと思います。

まず第一に、船橋市民が中江さんのような候補者を待ち望んでいたことがよくわかりました。それは私が「船橋を反核・護憲・平和都市宣言の街に」一万名署名行動や、オルグに歩いて実感したことです。

ほとんどの市民が快く署名に応じてくれました。中には「子供には絶対に戦争を経験させたくないませんから」と、一才の子供の分も含め、家族全員の署名をしてくれた家庭も少なくありませんでした。

世の中が平和であれば、これだけの反響はおこらないでしょう。時代が戦争にむかって、確実に進んでいることに多くの市民が不安をもつて見つめている証拠だとおもいます。

中江候補の「反核・護憲」の訴えが、こうした市民の心をつかんだということだとおもいます。しかし、ただそれだけなら、どこの政党がやつても同じでしょう。問題は訴える側です。

私達、動労千葉の組合員が、不慣れながらも真剣に「反核・護憲」署名を、中曾根内閣打倒を訴え、船橋全域をへとへとなるまでかけずりまわっている姿に、市民が共感を寄せ、中江支持となつてあらわれているのだと確信します。

私は、こうした市民の期待にこたえるためにも、中江候補の勝利をかちとらねばならないとおもいます。

動労千葉のスローガンを  
実践する場である中江選挙闘争

第二は、中江選挙闘争は動労千葉のスローガンである「組合員一人ひとりが活動家になろう」

**4月10日（日）の千葉県議選・東京都知事選（投票）にはこな人を！**

千葉県議員は

千葉市市川福平（前）  
印幡郡高橋正八郎（現）

木更津市高野誠治（新）  
市川市小岩井清（現）  
習志野市安岡正義（新）

千葉市市川福平（前）  
印幡郡高橋正八郎（現）

柏市柳田祥子（新）  
成田市篠原茂（新）  
東京都知事は

柏市柳田祥子（新）  
成田市篠原茂（新）  
松岡英夫（革新統一候補）

を実践する場だな、とつくづくおもいます。  
私もそうですが、だいたい皆、そんなに社交的な人ばかりではなく、人見知りする位の人が多いとおもいます。

私は署名用紙とボールペンを渡され、人前にたつときつい二の足を踏んでしまいました。しかし、そのまま引きさがれば白紙のままです。勇気をだして訴え、署名してもらいました。こうした行動の積み重ねは、選挙闘争の当初に比べ私達を大きく成長させたとおもいますし、これから活動にプラスになるとおもいます。

最後に、中江選挙は政府・自民党から動労革マルにいたるまでが注目しているとおもいます。反動勢力は中江の敗北をねらっています。絶対に敗けるわけにはいきません。

これだけの選挙闘争をやつているのは全国でも中江と北原くらいだろうとおもいますし、動労千葉だからこそできるんだなと感じています。

市民の期待を裏切らず、みんなの奮闘を無にしないためにも、残された十数日をがんばりぬき、勝利したいとおもいます。（写真）

連日のとりくみにも、熱気がこもる。——千葉転支部掲示より